



いのちの声を聞いてみませんか

— 自死に向きあう研修会 —

- 日時 2018（平成30）年
7月5日（木）13:30～15:40
- 講題 自死はどのように語られてきたか
～仏典と古典文学の用例から～
- 講師 龍谷大学 文学部 准教授 野呂 靖 師
- 場 所 本願寺広島別院 安芸門徒会館 共命ホール
- 受講料 おひとり 1,000 円
- 主催 社会福祉推進協議会安芸教区支部
自死に向きあう広島僧侶の会
<http://www.inochinohi-hiroshima.com/>

いのちの声を聞いてみませんか

— 自死に向きあう研修会 —

大切な方とお別れしていく、その悲しみをお釈迦さまは「愛別離苦」とお示してくださいました。そのお別れが自死でともなれば、自責の念や怒り、また周囲からの偏見とも対峙しなくてはなりません。遺されたご家族の悲しみに向きあうことができないか、そんな想いで「自死に向きあう広島僧侶の会」を結成し、はや6年半が経ちました。

今回の研修会は、自死に向きあう活動への理解を深めて欲しいという想いと、活動に共感してくださった方が、共に参画してもらえないか、そんな想いで開催いたします。多くの方々がお越しいただけますよう、お願いいたします。

講 題 自死はどのように語られてきたか ～仏典と古典文学の用例から～

講 師



龍谷大学 文学部 准教授
野呂 靖 師

プロフィール

野呂 靖 (のろ せい)

1979年生まれ。龍谷大学文学部准教授／NPO 法人京都自死・自殺相談センター理事。
花園大学非常勤講師、浄土真宗本願寺派総合研究所研究員を経て現職。博士（文学）。専門は日本仏教思想。
2010年、有志とともにNPO 法人京都自死・自殺相談センターを立ち上げる。自死関係の論文に「自死対策における宗教者の役割」（『ケアとしての宗教』共著、明石書店）など。

開催日時 2018（平成30）年 7月5日（木）13:30～15:40

開催場所 本願寺広島別院 安芸門徒会館 共命ホール

〒730-0801 広島市中区寺町 1-19

【徒 歩】・JR 横川駅南口 徒歩 10分

・横川駅より広電に乗り換え「別院前」電停下車徒歩 3分

【タクシー】・JR 広島駅よりタクシーで 15分

・広島バスセンターよりタクシーで 10分

【自家用車】山陽自動車道路 広島IC 出口 20分

【駐 車 場】数台駐車できます。

満車の場合近くの有料コインパーキングをご利用ください。

対 象 どなたでも関心のある方はご参加ください。

参加申込 不要

受講料 おひとり 1,000 円

受講料の一部は活動費、運営費として活用させていただきます。

お問い合わせ 090-5691-3446（担当：石田）

備 考 私たちと一緒に活動して下さる僧侶スタッフも募集しています（宗派は問いません）。



【主催】 社会福祉推進協議会安芸教区支部

自死に向きあう広島僧侶の会

<http://www.inochinohi-hiroshima.com/>